

平成21年度関東高等学校選抜バドミントン大会
兼 第38回全国高等学校選抜バドミントン大会関東地区予選会
実施要項

- 1 **主催** 関東バドミントン連盟・関東高等学校体育連盟
- 2 **主管** 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部・東京都バドミントン協会
東京都高等学校体育連盟・東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部
- 3 **後援** 東京都教育委員会・(財)東京都体育協会・
- 4 **大会日程**

監督会議	平成21年12月26日(土) 15時00分から
競技(学校対抗戦・個人戦)	平成21年12月27日(日) 9時30分から
競技(個人戦)	平成21年12月28日(月) 9時30分から
表彰式	平成21年12月28日(月) 競技終了後
- 5 **会場** 駒沢リゾーツ公園総合運動場体育館・屋内球技場
〒154-0013 世田谷区駒沢公園 1-1 TEL: 03-3421-6199 FAX: 03-3421-8109
(<http://www.tef.or.jp/koggp/access/access.html>)

*監督会議は、駒沢体育館内の会議室で行う。
- 6 **種目** 学校対抗戦(男・女) 個人戦(男・女 各シングルス・ダブルス)
- 7 **競技規則** 本大会実施要項及び平成21年度(財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程・同公認審判員規程による。
- 8 **競技方法**
 - (1) 学校対抗戦(団体)
 - ア. トーナメント戦方式による、3位決定戦は同一県の学校が決勝に進出したときのみ行う。
 - イ. 試合順序は複1・複2・単1・単2・単3で実施する。
ただし、単1は複1・複2・単2・単3と兼ねることは出来ない。
 - ウ. 1対抗戦3マッチ先取とする。
 - (2) 個人戦(個人対抗)
シングルス・ダブルスを行い、いずれもトーナメント戦方式による。3位決定戦は、同一県の選手が決勝に進出したときのみ行う。
- 9 **使用用器具** 平成21年度(財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び第1種検定合格水鳥球を使用する。
- 10 **参加資格**
 - (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在学する生徒で、各都県高等学校体育連盟に加盟し、各都県予選会を経て代表権を得た者。
 - ア. 学校対抗戦は各県(千葉・栃木・山梨・茨城・群馬)男女2校ずつとする。
 - イ. 個人戦は各都県、男女シングルス・ダブルスも2名・2組ずつとする。
 - (2) (財)日本バドミントン協会に平成21年度登録完了済みの者。
 - (3) 年齢は平成3年4月2日以降に生まれ、1・2年生に在学するものとする。
ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) 全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、当該都県の高等学校体育連盟会長の許可があれば、その限りではない。
- (7) 参加する選手は、予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア. 上記9(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、各都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 上記9(3)ただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は2回限りとする。
- (9) 大会参加資格の別途に定める規定
 - 1. 学校教育法第124条、134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
 - 2. 以下の条件を具備する事。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. 関東高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場がみとめられ、関東大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 関東高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 11 参加制限
- (1) 学校対抗戦(団体)
 - チーム編成は、1チーム監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5~7名(同一校選手)とする。又、選手5名を欠いた場合はチームとして認めない。
 - (2) 個人戦(個人対抗)
 - シングルス・ダブルスとも監督1名のみとし、ダブルスの選手は同一校選手とする。
 - (3) 外国人留学生
 - ア. 学校対抗戦(団体)
 - 申込みは2名以内とし、1対抗戦の出場は、その出場人数(1名又は2名)に関わらず、1試合とする。
 - イ. 個人戦(個人対抗)
 - 各都県、男・女、各々シングルス1名・ダブルス1組までとする。

- 12 選抜方法
- 男女、学校対抗・個人(シングルス・ダブルス)とも上位各2チーム・2名・2組は、平成22年3月に開催される、第38回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会に出場することが出来る。ただし、下記条件による。
- (1) 学校対抗戦(団体)
 - 男女とも同一県からの2チームは選出しない。
 - (2) 個人戦(個人対抗)
 - 男女・シングルス・ダブルスとも同一都県からの2名・2組は選出しない。

(3) 外国人留学生

関東ブロックより、男女、各々シングルス1名・ダブルス1組までとする。

- 13 **引率監督** (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。
引率責任者は、選手の全ての行動に対し、責任を負うものとする。
(2) 引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。
個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
(3) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲であれば、その規定に従うことを原則とする。
- 14 **表彰** 学校対抗戦・個人戦ともに1位～3位まで表彰する。
- 15 **使用シャツ** 現行の（財）日本バドミントン協会検定合格水鳥シャツ（第1種）とする。
- 16 **参加料** 学校対抗1チーム 20,000円 個人1人1種目 2,100円
- 17 **申し込み** (1) 参加校は参加申込書を、「東京都高体連バドミントン専門部」のホームページからダウンロードし、必要事項を入力したデータを下記メールアドレスへ11月30日（月）迄にメール送信して下さい。
また、プリントアウトした大会参加申込書（正1通・副1通）に押印して各都県委員長に提出して下さい。
『東京都高体連バドミントン専門部 HP』 <http://www.tokyo-hsbad.com/>
『東京都高体連バドミントン専門部 E-mail』 mail@tokyo-hsbad.com
- (2) 各都県委員長は、平成21年12月4日（金）【必着】までに、各都県毎に一括して申し込むこと。
『申し込み先』 〒132-0031
東京都江戸川区松島2-10-11
関東第一高等学校内 東京都高体連バドミントン専門部 亀山和由宛
『参加料振込先』 JPBANK『ゆうちょ銀行』
口座番号:00150-0-545460 加入者名:高体連バドミントン専門部
①学校対抗戦の監督・コーチ・マネージャー・選手変更及び、個人戦の監督変更は、所定の用紙を使用し、平成21年12月26日（土）14時30分までに監督会議「受付」に提出すること。
②個人戦申し込み後の選手変更は、いかなる場合も認めない。
- <個人情報の取り扱いに関して>
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報および肖像権に関わる取り扱いについて」を参照下さい。）
- 18 **組合せ** 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部の責任において行う。
- 19 **競技上の注意** (1) 試合は流し込みで行います。
(2) 1巡目の試合のオーダーの提出は9時10分、選手集合は9時20分とし、以後の試合は放送の指示に従って下さい。また、試合の状況に応じてコートを並行することもあります。
(3) 試合前の練習は、学校対抗戦・個人戦各試合ごとに両校同時に2分間とします。
(4) 試合が連続する場合は、学校対抗戦・個人戦とも10分間のインターバルを与える。
(5) 写真の『フラッシュ撮影』は禁止する。

- 20 審判上の注意
- (1) 各試合とも、準決勝以降はサービスジャッジをつける。その他の試合は原則としてサービスジャッジはつけない。
 - (2) 平成21年度(財)日本バドミントン協会の競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程に則っておこないますが、特に、次の事項には留意すること。
ア. ドリンク・汗拭き・靴紐の絞め直しなどで、故意にプレーを中断しないこと。
イ. シャトルの羽を折ったり、広げたりしないこと。
 - (3) マッチ(試合)中、シャトルがインプレーでない時のみ、プレーヤーはコーチからアドバイスを受けることができる
 - (4) それぞれのゲーム間に120秒を超えないインターバルを、又、ゲーム中どちらかのサイドのスコアが11点になったら60秒を超えないインターバルを認めるが、競技区域に入れる監督・コーチ等は同時に2名までとする。そして、主審の「残り20秒」のコールで競技区域内から離れること。
 - (5) シャトルの交換は、主審がこれを決定する。
 - (6) 『抗議』や『異議』は一切認めません。その判定に従わない時はその試合を放棄したものとみなす。
- 21 備考
- (1) 宿泊については別紙『宿泊要項』を参照のこと。宿泊場所が決定次第各校に連絡する。
 - (2) 開会式は行わない。
 - (3) 競技時の服装は、色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
 - (4) 上衣の背面中央に必ず、高等学校名及び都県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。
【 上段—学校名(やや大きく)、下段—都県名 】
ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm、横30cmの大きさを基準とする。
(ゼッケンの場合の文字の色は、黒色又は濃紺色とする)
 - (5) 練習は、12月26日(土)12時から15時まで、『駒沢オリンピック公園総合運動場体育館・屋内球技場』で行うことができる。練習コートは都県別に割り振るので、各校で譲り合って練習すること。
 - (6) 受付は全て会場内の『受付』で行うこと。
<12月26日(土)14時30分まで>「学校対抗戦出場校」は指定のシャトル(ケースに学校名を記入)を1ダース提出し、翌日のオーダー用紙・プログラム等を受け取る。
<12月27日(日)>「学校対抗戦出場校」は来場後すぐに受付をすること。
「ダブルス出場者」は正午までに受付をすること。
<12月28日(月)>「シングルス出場者」は9時10分までに受付をすること。
 - (7) プログラムは、学校対抗戦各校4部・個人戦各校2部を無料とする。
 - (8) プログラムのミスプリントの訂正については、受付後すぐに所定の用紙を会場内の『受付』に提出すること。
 - (9) 競技中の傷害などの応急処置は主催者が行う。
 - (10) 飲食物・ゴミ等の後始末は、各校の責任で行うこと。
 - (11) 履物は『屋内用』『屋外用』の区別をはっきりすること。
 - (12) 会場内のロビー等での練習は禁止する。アリーナ内の施設・設備に損害を与えた場合には弁償してもらうこともある。